

# 尾張北部環境組合だより

令和2年12月 第7号

発行・編集 尾張北部環境組合

〒483-8221

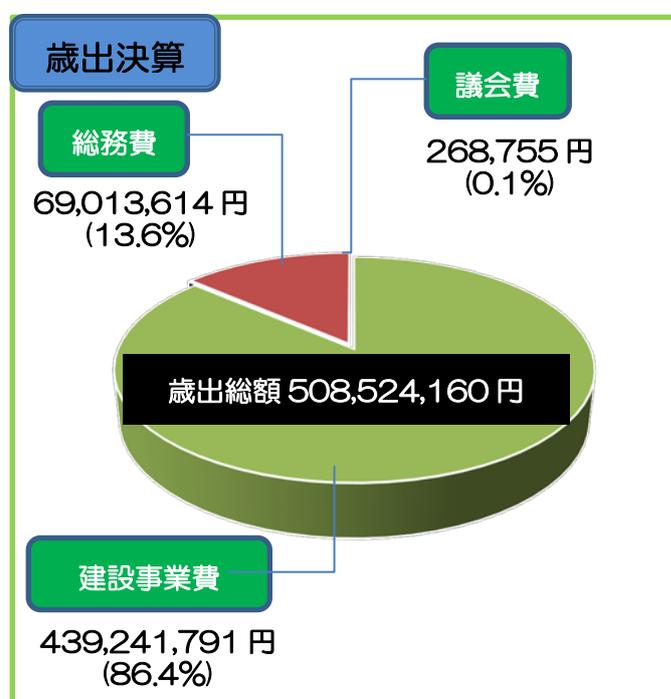
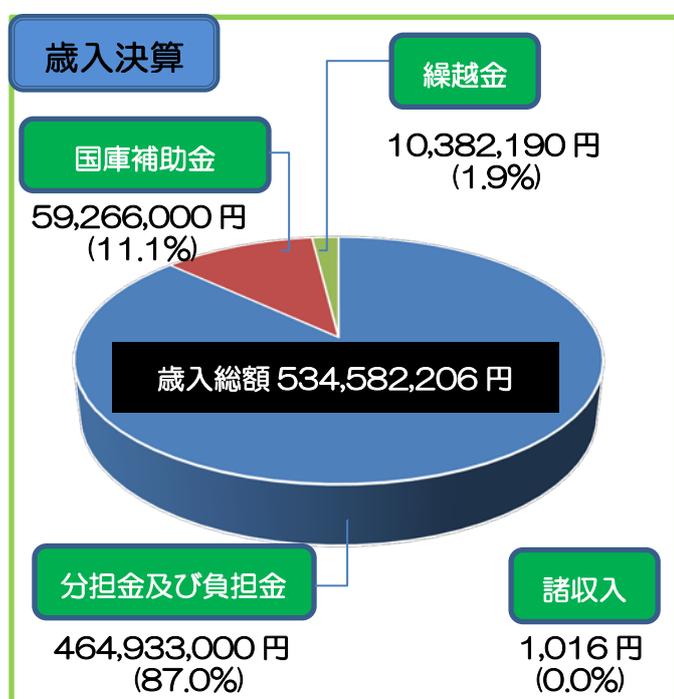
江南市赤童子町大堀 90 番地（江南市役所内）

TEL 0587-54-1188

<http://www.owarihokubu.jp>

尾張北部環境組合は、犬山市・江南市・大口町・扶桑町のごみを共同で処理する新たなごみ処理施設の整備を推進しています。

## 令和元年度尾張北部環境組合一般会計歳入歳出決算



※括弧内は決算総額に占める割合であり、小数第2位を四捨五入しているため、表章単位に満たないものは「0.0%」としています。

### ●歳入

組合構成市町（犬山市・江南市・大口町・扶桑町）からの分担金及び負担金 464,933,000 円を主な財源とし、事業を実施しました。また、国の循環型社会形成推進交付金制度を活用し、環境影響評価等調査業務、基本設計策定等業務及び粗大ごみ処理施設整備事業に対して、59,266,000 円の国庫補助金の交付を受けました。

### ●歳出

議会費の主な歳出として、議会の会議録作成業務委託料 197,250 円を支出しました。総務費の主な歳出として、派遣職員の給与等に係る負担金 63,491,083 円を支出しました。建設事業費の主な歳出として、環境影響評価等調査業務委託料 128,315,000 円、基本設計策定等業務委託料 23,342,000 円、用地購入費 254,112,248 円（71 筆）、用地の物件移転の補償費 31,680,882 円を支出しました。

## 尾張北部環境組合に関する組織構成員が替わりました

議長について、扶桑町の市橋茂機氏が勇退され、7月の組合議会において、扶桑町の和田佳活氏が新たに組合議会の議長に就任されました。それに伴い、扶桑町議会から新たに、小室輝義氏が組合議員に選出されました。

副管理者について、扶桑町において、令和2年4月に扶桑町長選挙が行われた結果、鯖瀬武氏が副管理者に就任しました。

監査委員について、識見を有する者のうちから選出される監査委員が令和2年3月末に辞職されたため、2月組合議会において新たな監査委員として水野敏夫氏（扶桑町）を選任することが同意されました。

現在の組合に関する組織の構成員は下記のとおりです。

### ▽組織構成員

組合議員	選出市町	役職等	氏名	選出市町	役職等	氏名
	犬山市	監査委員	水野 正光	江南市	代表議員	河合 正猛
		代表議員	大沢 秀教			鈴木 貢
			大井 雅雄			堀 元
	大口町	代表議員	齊木 一三	扶桑町		高木 義道
		副議長	丹羽 勉		代表議員	小室 輝義
		丹羽 孝	議長		和田 佳活	

副管理者・ 管理者	市町	役職	氏名	市町	役職	氏名
	犬山市	副管理者	山田 拓郎	江南市	管理者	澤田 和延
	大口町	副管理者	鈴木 雅博	扶桑町	副管理者	鯖瀬 武

監査委員	市町	役職	氏名
	扶桑町	識見監査委員	水野 敏夫
	犬山市	議選監査委員	水野 正光

## 公害防止協定を締結しました

令和2年4月に、地元6地区（江南市中般若区、草井区、般若区、扶桑町山那区、小淵区、南山名区）と尾張北部環境組合とで各市長、町長立会いの下で公害防止協定が締結されました。協定では組合が遵守する自主規制値や、その取扱いに関する事項、公害防止委員会を設置することのほか、施設の管理運営状況等に関し、地区からの申し入れにより資料の開示等を行う旨などを規定しています。

なお、今回の協定で定められている排ガスなどの自主規制値は、6地区の代表者12名を含む公害防止準備委員会にて検討が重ねられてきたものです。この協定を遵守し、皆様が安心安全に生活できるよう努めてまいります。

## 環境影響評価準備書等説明会が実施されました

令和2年8月に、江南市（23日）、扶桑町（24日）、各務原市（29日）の3会場で環境影響評価準備書等説明会が実施されました。参加者は合計で32名となり、計画地盤高さや浸水対策、交通渋滞対策や大気等についての意見や質問が出されました。

なお、環境影響評価準備書と説明会資料については、江南市ホームページにて現在も公表中です。